

新年おめでとうございます

お客様の視点に立った企業活動

東洋工業 株式会社

代表取締役社長 河田 浩喜



平成24年の新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、東日本大震災によって被災された方々に改めて心からお見舞いを申し上げます。

昨年の3月11日、東北地方を中心とする未曾有の大震災が発生し、多くの方々が甚大な被害を受けました。殊に、津波による被害は想像を絶するもので、跡形もなく流されてしまった街の様子を見るにつけ心が痛みました。また、原子力発電所の事故による放射線物質の汚染は、多くの方々が避難を強いられ生活の基盤が失われてしまいました。あれから10ヶ月もたとうとしているのに未だに仮設住宅や避難生活の不自由な生活を強いられており、その姿を見るにつけ一日も早い復旧復興を願うばかりです。

昨年は、国内外を問わず経済不況が続く、国内企業にも大きな影響がありました。我々を取り巻く環境も誠に厳しく、殊に、住宅着工戸数は前年を上回ったとはいえ低い水準のままです。公共投資も相変わらず縮減傾向で、震災予算などの影響を受け地方の公共事業は更に厳しくなりました。

このような情勢下で、企業経営に当たる者としては様々な対応を迫られることとなりましたが、厳しい時代であるからこそ積極的かつスピーディーにお客様のためになる対策を執らなければならぬと考え、当社としても弥縫にとらわれず計画的かつ継続的方針を立てて取り組んでおります。

まず販売面では、当社は代理店制度を採っておりますので代理店様とはこれまで以上に関係を大切に、更に強固なものとするべく協力関係の強化を図ってまいりたいと考えております。

また、お客様の期待に応えるためには新商品の開発が必要であります。当社も毎年新商品を出し、お客様から認められる商品を目指して発信しておりますが、具体的には、最近では景観資材として「ワンユニオン・システム」を発売し、不陸防止の噛み合わせ平板として高い評価を得ております。また、エクステリア商品としては、独自の技術を活かしたウォータージェット製品の「リベルタストーン」や「パールストーン」は、真新しい意匠の組み合わせによっていろいろなデザインが考えられるという楽しさを提供しております。

その他、最近の癒しや独自性をテーマにしたガーデンテリアルでは、玄関や庭周り商品として「Dex・シリーズ」があり、お客様のオリジナルに合うような商品化にも心掛けておりますし、門回り商品として「FITシリーズ」を発売し、今までにないアイデア商品のニーズにお客様からの引き合いが段々高まってまいりました。このように今後もお客様のニーズに添えるアイデア商品を出すとともに、差別化や新しい分野にも視点を向けた商品開発に挑戦してまいりたいと考えております。

当社は、昨年からの新5カ年計画に取り組んでおります。その中に、本年の基本方針として「お客様の視点に立った諸対策の推進」を掲げております。厳しい時代にこそお客様と一体となって、お客様から信頼されるメーカーになるよう全社一丸となって取り組んでまいります。お客様からは厳しいご意見もいただいておりますが、これまで以上にお客様第一を心掛け、お客様の様々なご要望に応えるよう社員が同じ意識を持って取り組むことを徹底してまいります。どうか皆様も忌憚のないご意見をお寄せください。

本年は、十干十二支で申しますと、「壬辰」(みずのえたつ)の年であります。昨年に引き続き本年も厳しい年になりそうですが、文字どおり辰(竜)の如く昇竜に乗って景気も上り調子になり、少しでも明るい年になるよう期待したいものです。

終わりにになりましたが、弊社に対しなご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。

変化の時代に積極的対応

港製器工業 株式会社

代表取締役社長 岡室 昇志



新年あけましておめでとうございます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は東日本大震災とそれに伴う原発事故、欧州の財政危機、タイの大規模水害など想像を絶する危機が多数発生し、本当に世の中何が起るかわからないというのが実感です。そのたびに、人の動き、物の流れ、お金の流れが大きく変化しますので、企業は常に世の中の変化に対応して自ら変化していく必要があります。

エクステリア業界も例外ではなく、様々な環境の変化の中で業界再編、異業種からの参入、逆に異業種への参入など、業態自体の変化も進行しつつあります。そのような変化の時代に当社ができることを見据えて積極的に進んでいく所存です。

昨年は関西エクステリアフェアへの出展において機能門柱の新シリーズ「SPU (Select Pole Unit)」を発売いたしました。柱の形状、柱の色、スリット

インの色、表札、照明、ポストを選ぶことができ、その組合せは全部で19万6416通りになるといった選べる機能門柱です。また、前年に発表したミラー付き門柱「Wide View Pole」のチェイン仕様も発表させていただきました。敷地を囲う場合は伸縮門扉を設定していましたが、新たにチェインという選択肢を増やしました。今後さらに門柱及び敷地境界を仕切る商品について機能、デザインを追究し、新たな商品を投入していく予定です。

また、昨年も中小企業総合展において「強度試験による開発支援」というテーマで出展しました。エクステリアをはじめ、建築金物、土木資材、船舶金物、仮設金物、物流機器といった製品開発において、引張試験機や落下試験設備などを活用し安全・安心な製品をお届けして参りましたが、その試験ノウハウを自社だけでなく、他社様にも活用していたらどうかという取り組みです。

当社ではお客様のオリジナルブランド商品も多数手がけており、大手メーカーにはできない小回りの効いた対応で喜んでいただいております。また、アルミ押出材材だけでなく、鉄、ステンレス、プラスチック、鋳物、木材、石材など、様々な素材、製法を組み合わせて提案できるのが強みで、強度試験ノウハウの信頼性とともに、お客様の新たな展開に大いに寄与していると確信しております。

今年も当社の強みであるスピードと幅広い対応力を活かして、更なるお客様へのお役立ちに挑戦していきます。

新年おめでとうございます